



東京多摩プロバスニュース

第 77 号

■事務局: 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-31-3 滝川方 ■編集・発行: 広報委員会 2018. 3. 7.

■電話・FAX (042) 372-2238 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

ホームタウン多摩で楽しもう！

第 163 回 定例会

日 時 : 平成 30 年 1 月 10 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 22 名(会員数 26 名)

第 164 回 定例会

日 時 : 平成 30 年 2 月 7 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 : 関戸公民館第 2 学習室

出席者 : 23 名(会員数 25 名)

理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



好きな散歩道

2 年前に病を患った頃から近郊の散歩を始めた。多摩市大谷戸公園内の湧水の火垂池から、旧農業者大学校グラウンド跡の源氏ホテルを鑑賞する閑静なトンボ池を経て、名誉都民の辻清明(陶芸家)邸前へと進む。

思えば 12 年前、ご子息から自宅に歴代の多摩市長が来られた話を聞き、岡野一馬さんに相談し、元多摩市長の渡辺幸子さん、元助役の下野功さん、岡野一馬さんと私と 4 名でお伺いした。屋敷内の巨大な登り窯や作品の説明を受け、お茶室にて「陶芸の心、歴史」などの話を 2 時間余り伺い感銘しました。

辻邸からさらに進むと武蔵野全景の展望ポイントの「ゆうひの丘」へ。犬の広場、

子供遊園地、富士山の眺めのポイントへと進み、都立桜ヶ丘公園へ至ります。

この公園には、明治天皇がウサギ狩りや鮎漁に 4 回訪ねておられる。また、田中光顕元宮内大臣らが多摩聖蹟記

念館を建設し、自ら寄贈した作品を中心に、幕末から明治時代まで活躍した西郷隆盛・勝海舟・伊藤博文などの書画や手紙などが展示されており、心が癒されて感動の極みです。この記念館にあやかって昭和 37 年に京王線の「関戸」は駅名を「聖蹟桜ヶ丘」に改名された。

さらに記念館から南に下り、東屋で高齢者の仲間と雑談し太陽の沈むころに帰宅します。歩行距離約 3.2 km となります。

ちなみに公園内には、うぐいすの道、どんぐりの道、あざみの道、はぎの道などがあります。



鈴木達夫総務委員長



多摩市熊野神社の節分会

1. 幹事報告

鈴木泰弘幹事

1.1. 近隣プロバスクラブとの交流

1) 東京八王子プロバスクラブ新年会

1月11日(木) 八王子エルシィにて
出席者：澤、鈴木(泰)、秋山、中村、滝川(益)の5名
・余興タイムは、下田泰造会員による軽妙な手品で大いに沸いた。

2) 東京日野プロバスクラブ新年会

1月18日(木) 立川グランドホテルにて
出席者：澤、鈴木(泰)、秋山、中村、高村の5名
・ショータイムでは、モンゴルの歌唱法「ホーミー」による歌と馬頭琴の演奏を鑑賞した。

3) 東京八王子プロバスクラブ生涯学習サロン開講式

2月22日(木) 八王子エルシィにて
出席者：澤、鈴木(泰)、秋山、登坂、上田、北村、滝川(益)の7名
・特別講話では、読売新聞特別編集委員で、TV番組でもお馴染みの橋本五郎氏が、「よりよく生きるとは」と題して、ご自分の来し方を振り返って、忘れられない三人の言葉を紹介された。

- ① 秋田県立秋田高校の鈴木健次郎校長から
「いっどこで誰に問われても、即答できる人になれ」
「汝何の為に其処に在り也」
- ② 済生会中央病院 大山廉平医師から、胃手術の退院時
「一日一日を大切に」
「一年過ぎたら一年生の修了証書を差し上げましょう」
- ② 母親から
「何事にも気を抜くな、全力で事に当たれ」
「傲慢になるな。常に謙虚であれ」
「どんな嫌いな人でも、その人の優れた处を見つけなさい」
「お天道様が見ているよ」

1.2. 交換卓話の実施による交流の推進

1) 2月7日(水)の定例会で、東京八王子PCの竹元正美氏(元東宮侍従)による「皇室のお姿」を拝聴。真摯なお話しぶり、タイムリーな内容に聴き入った。

関連記事3ページ参照

2) 2月16日(金)、埼玉浮き城プロバスクラブで、当クラブの西村会長が「私の山登り60年」の卓話を行った。

3) 3月7日(水)の定例会で、東京日本橋プロバスの吉田誠男氏による「江戸の歴史」をお聴きする予定。

1.3. 稲田興元幹事 逝去 1月11日(木)享年78歳

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

鈴木達夫委員長

1) 第163回定例会 1月10日(水)

三井住友信託銀行多摩桜が丘支店中村浩康氏による講話「やさしい相続・遺産の話」

関連記事3ページ参照

2) 第164回定例会 2月7日(水)

東京八王子プロバスクラブの竹元正美氏による交換卓話「皇室のお姿」

関連記事3ページ参照

3) 当クラブ会員名簿配布

2.2. 研修・親睦委員会

秋山正仁委員長

1) 5月に計画した一泊研修会は、参加予定者が15~16名でしたので中止といたします。

2) 花見の会を4月6日(金)に計画

八王子方面の都立滝山公園(滝山城跡)・創価大学キャンパス・東京富士美術館・八王子道の駅等を予定しております。

マイクロバスを利用しますので、多数の方々の参加をお待ちしております。



参考：都立滝山公園の桜
(八王子市ホームページから)

2.3. 地域奉仕委員会

滝川道子委員長

1) 1月18日(木)12時~15時 会場 ポロン(小林宅)

「サロンこの指止まれ」においてセミナー「江戸しぐさ」の講座を実施。25名の参加。食事会の後1時間の講話でしたが、シニアの皆さん楽しく話を聞いて下さいました。

2) 1月20日(土)16時~16時45分、町田市小野路公会堂で行われた防災セミナーの中で、「バッククッキングの実演と試食」を実施。近隣の方が22名参加。試食は好評で、さっそく我が家で作ってみますとの声でした。

3) 3月に実施する寺小屋「そろばん出前授業」のお知らせがありました。



地域奉仕委員の皆さん

2.4. 広報委員会

登坂征一郎委員長

1) プロバスニュース第77号編集と発行

稲田興会員への「偲ぶ言葉」をはじめ、会員各位のご寄稿有難うございました。数度の編集会議をもち、3月7日の定例会に発行・配布の予定。

2) ホームページ

「多摩の四季おりおり」でもアクセスできます。

「優しい相続・遺産の話」

三井住友信託銀行 多摩支店 中村浩康氏
東京都民銀行 多摩支店長 橋本浩一氏

平成 30 年最初の定例会(1 月 10 日)で、会員にとっては大変身近な相続・遺産に関する講話が行われた。

秋山研修・親睦委員長から講師の中村浩康氏及び立会人の橋本浩一氏の紹介があり、中村浩康氏がパワーポイント資料に沿って複雑な法律問題を分かり易く数々の事例も交えて説明された。

近く法律改正の動きもある中で、相続が「争族」にならないようにとのユーモアも交えながらの解説であった。

まずは自身の法定相続人の確認をしておき、自らの財産の法制上の相続仕組みを正しく認識すること、その上で必要ならば遺書の有効性を確認してほしいとのことであった。

遺書と遺言の違い、遺言は法定相続に優先すること、遺言といえども一定の相続人には遺留分として最低限度の相続分があること等々のことを、改めて明確に定義し解説していただいた。

正しい遺言であっても執行に当たってはいろいろなトラブルがあることの事例紹介もあった。事例にある如く、私たち家族の事情は千差万別、不安があれば早く身近な専門家(銀行等)に相談するようにとのことであった。

講話後の会員からの質問も活発であった。本来は楽しい話題の筈なのに大変盛り上がりを見せた講話となった。
(文責 山田正司会員)



中村浩康氏

「皇室のお姿」

東京八王子プロバスクラブ 竹元正美氏

1. 皇室と私の係わり

(1) 私は 1970 年に外務省に入り、その後宮内庁に移って

1986 年から 1988 年まで東宮侍従として現在の天皇陛下にお仕えしました。その職を辞するとき昭和天皇に拝謁しましたが、陛下はその 6 日後に病床に伏されたのでこれが昭和天皇の最後の公務となりました。昭和天皇の大喪の礼、今上天皇の即位の礼にも係わりました。

(2) 海外との係わりとして、赴任地で大使や大使館員として天皇陛下や皇族方をお迎えしました。

特にタイは今上陛下の即位後最初の訪問国だったため感慨深いものでした。

国内勤務時代には国賓の接遇など天皇陛下の外国との交際に係わる業務に携わりました。

2. 皇室の特徴

(1) 天皇の先祖を遡ると神武天皇という神話の世界に行き着きます。日本の皇室は「神話の世界にルーツを持ち、神武天皇以来 2,600 年以上続いている世界最古の王朝」です。

(2) 皇室が行う宮中行事が日本の伝統工芸、伝統芸能として引き継がれています。雅楽、古式馬術、鴨猟、鶺鴒飼、宝物などがその例です。

(3) 皇室の特徴として「宮中祭祀」が重要です。宮中祭祀とは天皇が国の安泰、国民の幸せを願って宮中で行う祈りの行事です。また、戦災地、被災地への見舞いや追悼、慰



霊もあります。

(4) 天皇の行為の基には「慈しみと公平の維持」という考えがあります。東日本大震災の際、計画停電の対象地域外だった皇居で自発的に停電に協力されたのです。

(5) 今上天皇は、太平洋戦争で 380 万人といわれる犠牲者が出たことからライフワークとして慰霊の旅を続けておられます。

3. 歴史上の重要な役割

(1) 天皇が果たした歴史上の最も重要な役割がポツダム宣言の受諾です。宣言を受諾するか否かの御前会議で 3 対 3 の意見に分かれ、最後に昭和天皇のご聖断で受諾が決まりました。

(2) 2000 年に今上天皇が太平洋戦争の影響でまだ対日感情が極めて悪かったオランダを訪問されたとき、両陛下が戦没者記念塔で献花し 1 分間の黙祷を捧げたことでベアトリクス女王が感動で涙した光景が実況中継され、対日感情が劇的に改善されました。

(3) 天皇の外国親善訪問は大使 100 人分の役割があるといわれることがありますが、国際親善に天皇が大切な役割を果たしておられます。

4. 生前退位問題

2017 年 6 月 9 日皇室典範特例法が成立し、今上天皇は 2019 年 4 月 30 日に退位されることが正式に決まりました。

5. 皇位継承問題

皇室典範により皇位継承者とその順位は

①皇太子殿下 ②秋篠宮殿下 ③悠仁親王殿下 ④常陸宮殿下の 4 人です。対応策は国会の論議によることになります。

(文責 大澤亘会員)

稲田興さんを偲ぶ

稲田興さんとは多摩市国際交流センター中国語講座で初めてお会いし、以後親しくさせて頂いてきました。その間中国山東省臨沂市と多摩市との市民交流の話が持ち上がり、調査のため臨沂市に彼と2回ほど訪問した時は、大学の交流も含めた提案書を作成持参、その企画力・国際的な交渉力・実行力に感銘を受けました。

その後当クラブを紹介、平成19年4月に入会され、主に広報委員のTVのインタビューを受ける会にて、また第7期、12期の幹事として活躍され、3・11後の環境問題の取組みで会員の消費エネルギー調査と環境への意識向上に、また、当クラブの10周年記念事業の「多摩かるた」の作成推進チーム、普及プロジェクトで活躍されました。事業への洞察力・綿密な企画力・行動力には目を見張るものがあり、柔和な笑顔と共に、これからの当クラブでの活躍の期待は大きく、あまりにも早く大変惜しい方を失い痛恨の極みです。衷心よりご冥福を祈ります。

酌みし友のつと帰らざる寒北斗 奥風

登坂征一郎会員



臨沂市の書聖王羲之祭で地元
のTVのインタビューを受ける
稲田さんと臨沂市政府の趙さん

小西加葉子；出窓に置いてある鉢が芽を出し始めた。2年前に彼と私の後輩とのお見合いの折頂いたものだ。しばらくメールのやり取りをしていたらしいが……。鉢を見るとつらい。

澤雄二；稲田さん、台湾に行つて来ます。右手に稲田さんが記した会報をもって。これからの多摩プロバスの発展を見守っていて下さい。ご冥福をお祈りいたします。

鈴木達夫；稲田さんの寄稿文ベトナム見聞録を拝見。私もホーチミンへ2回訪問。目的の着眼点が素晴らしく感動。貴重な人を失い残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。

鈴木泰弘；楽しかった卓話、プロバスの記事。「八田興一」、逆輸出した和製漢字、東南アジア紀行等。聴きたかった「一帯一路と鄭和」の話。朝に紅顔、暮に……空しい。

高村弘毅；故稲田興様、永年に渡る多摩プロバスクラブに対する功績に衷心より感謝し、心からの哀悼の意を表します。「貴方の笑顔・企画・実行力に水のやさしさ・力量を感じます。」

滝川益男；稲田さんは、言い難いこともズバリと言ってくれる。かと思うと「吹き竹にね」と大切な玄関脇の黒竹を切ってくれる。何事も本音で話し合える快男児でした。

滝川道子；黙っていると少しとつきにくい方でした。でも心の暖かい思いやりのある方でした。親身になってアドバイスを有難うございました。コーヒーの香の向こうへ。

永田宗義；健筆な彼と広報でともに語り共に編集・校正しともに喜び、充実した時を過ごしてきたのに、突然の別れとなり誠に残念！ご冥福をお祈りします。

中村昭夫；彼とはTICからのお付き合いでプロバス入会を登坂さんと一緒にお誘いした。穏やかな人格者で中国文化に精通しておりこの面で彼から学ぶところが多々あった。

西村政晃；稲田さんのあのやさしい笑顔。拝見できなくなってしまいとても残念です。「多摩かるた」の作成やら普及やら、そのご尽力は素晴らしいものでした。

阪東照子；電子辞書買いに行く時見てあげるの声耳元にあって離れず。お浄土の夢に恵(え)みつる妻の元、積る四方山日月長し。春風の吹くにもまさる涙かな 浮草

藤寄喬子；会計の任を受け戸惑う私に、一緒にパソコンを選び背中を押してくれた大恩人。未だ信じ難い思いです……屈託のない笑顔の遺影には救われるけど私は寂しい。

古澤靖雄；ひじり館で稲田家のルーツを筋書きとした「北の零年」を上映する企画に、稲田家のルーツを講話していただき、大好評であったことを昨日のように思い出されます。心安らかに、お眠りください。

増山敏夫；哇道さんを追っか一月に御神渡りがありました。五年前貴君が詠んだ句、「御神渡り神の激しき闇の恋」を思い出しました。いい句でしたね。ご冥福を。

山田正司；TIC中国語講座で知り合い、プロバスクラブでは理事としてプロジェクトメンバー(省エネルギー、かるたづくり)として特に世話になりました。感謝しています。

以下、会員各位の偲ぶ言葉。(五十音順、敬称略)

秋山正仁；二次会でいつも楽しいひと時を過しました。特に台湾の話になると眼を輝かせて色々なことを教えて下さいました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

上田清；プロバスの大切な指導者であった稲田さん、余生は「世界遺産めぐり」と語っておられた稲田さん、無念残念です。心からご冥福をお祈り申し上げます。

大澤亘；私が会長のとき幹事として、当クラブパンフ改定のとき委員として、大変助けられました。環境問題の取組みやプロバスかるたの説明文も特筆すべき業績です。

神谷真一；台湾にプロバスクラブを作りたいとの願いのまま旅立った。稲田さんはよく酒の席で台湾行きを話していた。もう一度飲みたかった。冥福を祈る。

北村克彦；こんなに早く逝ったなんて信じられません。一つの写真を見ても穏やかな笑顔で、存在感のある、頼りになる人でした。今の当クラブにとっても大きな痛手です。

倉賀野武士；稲田さんには卓話の講師に急に穴があいた時等に何かと力になって頂き、会の運営にとって「苦しい時の稲田頼み」でした。議事録を何度も直されたのも思い出です。

小池博；稲田会員は現役時代はお名前を知る程度でしたが、仏教にご造詣が深いことがわかり、これからいろいろ教えていただこうと思っていた矢先でした。まことに残念です。ご冥福をお祈りします。

◇◇◇ 東京日本橋プロバスクラブの紹介 ◇◇◇

近隣プロバスクラブとの交流会をはじめ、卓話やゴルフ、囲碁、俳句などの交流がなされるようになり、相互のクラブの活動に関心がもたれるようになってきました。相互の理解を深めるべく近隣プロバスクラブのプロフィールを紹介させていただいております。今回は3月に卓話をお願いしている東京日本橋プロバスクラブの紹介です。(文責 登坂会員)

東京日本橋プロバスクラブは、東京日本橋ロータリークラブの創立45周年記念事業の一環として2003年3月13日に発足し、現在、会長田中宏氏をはじめ会員数は39名、毎月第2木曜日、日本橋三越7階特別食堂「不二の間」で開催されております。

創立当初は、ロータリークラブのOB会(ロータリーの現役会員で重複して入会している方が半数程)という状況でしたが、現在では、ロータリーとはご縁の無い方も入会されています。会員の年齢は65歳以上、親クラブである東京日本橋ロータリークラブに女性がいなかったため、当クラブにも残念ながら女性会員はおりません。毎回の例会出席者は25名ほどです。

当クラブの会員は、日本橋地区の企業・老舗料理店の代表が多く、地域では名橋「日本橋」保存会や、「日本橋地域

ルネッサンス100年計画委員会」などを中心に「日本橋に青空を、日本橋川に光を」を目標に掲げた日本橋川にかかる首都高速道路の撤廃に関する署名活動を積極的に行っていました。

今年3月に創立15周年を迎えるにあたり、9月には記念例会を計画しており、春の行楽バスツアーや有意義な卓話を増やすことで更なる増強を進めております。

平成29年度事業報告では、卓話には、外交、経済、気象情報、落語など幅広く各界の講師を招き、また、社会学、鑑賞会、食事会等の活動をしております。

以上事務局の横浜千佳子様からご紹介いただきました。

*事務所; 東京都中央区日本橋室町3-3-9 日本アイビル

5階 東京日本橋ロータリークラブ内

電話:03-3270-6660(代)、FAX:03-3279-2515

◇◇◇ 行事・会員の活動 ◇◇◇

1. 無茶苦茶楽茶

お入りやす 京の古刹の 軒の端の

在釜の旗の 滲みて幽か

見馴れている茶室の引戸に手作りの札を下げた。ザイフと読む。釜かけてます一服如何ですかの意である。殺風景なビルの廊下に雅び風流をもちこみたく掲げた所、佳客の皆さんの目にとまり席中話題となり、我が意を得たりと私も楽しかった。如月だから梅を中心とし、一楽二萩三唐津等の約束ごとにも入れたが、暦によると犬供養の日とあったので和犬12匹を茶室に連れて来た。籠をかぶせた犬で笑うの判じ物を蹲踞に置き、小敷紙に「笑う門には福来る」と手書きしたり、脇床には岡田照道老師の筆になる「夜守家」の画賛を置き、人権ならぬ犬権?番犬として、人の役に立つ仁義を称えたかった。無茶(水屋用の会記、回文歌等廊下に張り忌むべき事)、苦茶(家元好のある席中に素人の手作り梅棚、竹花入、茶杓を使った事は苦々しく烏滸がましい)。今回、男性茶道の侘助の会長田中氏をはじめ侘助で当クラブの神谷・大沢・倉賀野・鈴木・小池・登坂会員の7名も参加。後日弾んだ声を電話で聞いた。習いたての小池会員は、遊び心満載、こじつけごり押しの茶席は初めてだと

訝り、流派の違いを見つけたと勉強振りを嬉々と報告してくれた。袴姿に始め緊張したが、話を聞く内に楽しくなった等、茶碗の銘「よろず良し」と納め、楽茶が建立出来た。

これには茶友小西加葉子会員・森川静子元会員ご両人の力強い協力なしにはできなかった。

阪東照子会員

茶一路の覚束ない花道を盛り立てて下さり感謝す。

席主終え 老の入舞 お陰様 浮草



2. 中学生俳句大会作品展示会

登坂征一郎会員

東京多摩ロータリークラブ主催の多摩市中学生俳句大会には2,829句の応募があり、当クラブが選考から表彰まで全面的に協力し、昨年12月に表彰式が行われた。

今回このうち1次選考を通過した308句の作品の生徒直筆による

短冊が1月25日(木)~30日(火)京王聖蹟桜ヶ丘ショッピングセンター5階連絡ブリッジギャラリーで展示された。なお、応募作品の俳句集「やまざくら」が発刊される。



3. 新春歩こう会に参加全員完歩

倉賀野武士会員

恒例の多摩市主催第36回新春歩こう会が1月21日(日)に開催された。当クラブから山田会員が登戸駅近くの多摩川河川敷から川崎大師駅までの20kmコースを、武蔵小杉駅近くの10kmコースに北村会員、小池会員夫妻が多摩ウォーキングクラブ(鈴木達夫、倉賀野会員所属)に合流してそれぞれ完歩した。

当日はうららかな絶好のウォーキング日和でのんびりと多摩川の景色を楽しみながらの歩行であった。ゴール後は川崎大師に1年の無事を祈願し、缶ビールで乾杯し帰途についた。全体の参加者は160人前後、10kmコースの歩数は約22,000歩であつた。



お大師をめざす健脚冬うらら

志水

宇宙飛行士からの贈り物

小池博会員

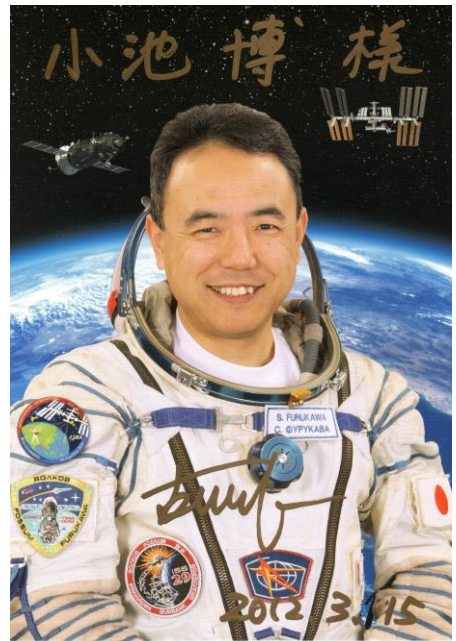
博物館は通常古い歴史的なものが展示されています。ところが、お台場の日本科学未来館は現在話題になっているもの、未来に活躍するであろう物を展示している世界でも珍しい博物館です。私はこの博物館がスタートした年からボランティアとして展示物の説明員をしています。

はじめは現役時代の専門だったエネルギーと環境関係の説明をしていましたが、毛利館長の「ボランティアの皆さんはそれぞれ専門をお持ちでしょうがこの未来館では専門以外を学ぶと言う姿勢で勤務して下さい。」との考え方に大いに感銘を受け宇宙の勉強を始めました。そして登坂征一郎会員にも紹介して一緒にボランティアとして切磋琢磨しています。(これはちょっと大げさですが?)

今では国際宇宙ステーション(400Km 上空を地球一周90分のスピードで飛翔し、無重力状態を作り出し種々の実験を行い、将来の火星旅行に備えている宇宙船)の説明を中心に宇宙、深海関係の分野を皆さんにわかりやすく興味を持っていただけるようにと心がけて説明しています。従って、当然私にとって宇宙飛行士は神様です。

ある時、その神様がこちらを向いてくださいました。奇跡が起こったのです!!私が住んでいる団地の飲み仲間になんと古川宇宙飛行士の親戚がいたのです。お互いに現役時代中近東で仕事をしていた事がわかり、それを肴に飲んでいるうちに肝胆相照らすようになりました。

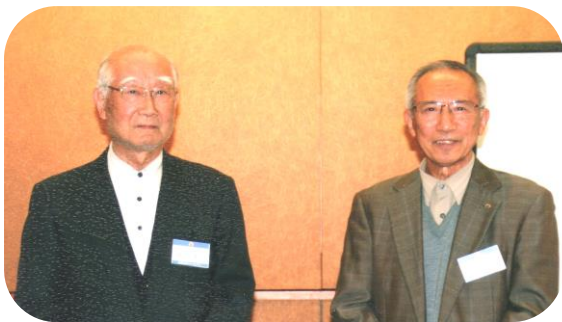
日本科学未来館にも大いに興味を持って下さったので、何度かご招待いたしました。するとある時「これをどうぞ」とくださったのが古川宇宙飛行士のサイン入りポर्टレートに小池博様と記載されたこの一品でした。日本科学未来館でも毛利館長と幹部以外は持っていないでしょう。まさに私の宝物です。残念ながら多忙の古川宇宙飛行士とはお会いできていないのが残念ですが、近い将来握手させていただくことを夢見しています。



〈参考〉 古川宇宙飛行士=医学博士、2011 年宇宙滞在167日 著書「宇宙に出張してきます」

◆◆◆ ハッピーバースデー ◆◆◆

1. 1月誕生日を迎えられました!



左から堀内陽二・稲田興各会員

2. 2月誕生日を迎えられました!



左から山田正司・小池博・古澤靖雄各会員

◆◆◆ 編集後記 ◆◆◆

○「二月は逃げて走る」と言う諺がある。29・30・31とたった三日の違いだが、立春雨水と二十四節気の暦が終わり、三月の啓蟄が追いかけてくるからだと言う。○第77号、熊野神社節分会、我田引水だが、拝殿の細めの注連縄、赤鬼さんの太めのお腹、半纏姿の背中丸さ、のんびりした豆撒き、故郷の良さが滲み出ている。○ご挨拶の鈴木委員長は好きな散歩道が沢山有りすぎ、説明しきれない様だ。○講話を聴き会場が盛り上がったと、山田会員の弁、皆さんが必要な常識と認識した証拠だ。竹元様の卓話又拝聴したい。○恒例の月釜のお客様は、総勢84名でその内、男性は16名、その中に会員6名の諸兄がおられて、笑いの漏れ和やかな一日となった。席主筆者は反省する点もあり、疲れたが、佳客茶友のお陰で「生かされた一日」であることを感じ、有難く皆さんにお礼を申し上げたい。○小池会員の「私の一品」語り口のテンポに乗せられ、一気に読んだ。世の中狭い、飲み仲間宇宙飛行士の親戚がおられたと。この言葉が、読み手をワクワクさせた。また、情の深い親戚の立ち回りには恐れ入り、小池博様のサイン入りを受け取り、さぞや喜んだ事だろう。○さて広報委員会に捧ぐ。

『興さんの姿、隣におる気配、偲ぶの寄稿、黙して仕上ぐ』 浮草 詠ず。 (広報委員 阪東熙子記)